

山田文彦

助教授 博士(工学) 技術士(建設部門)
yamada@kumamoto-u.ac.jp

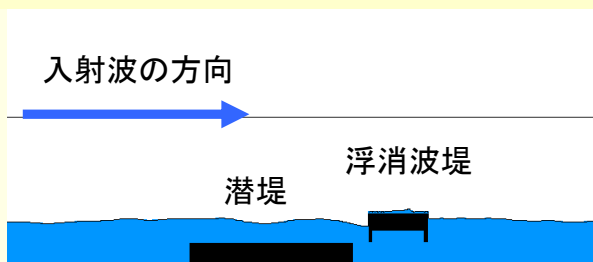
研究のキーワード

潮汐・波浪, 底質輸送, 地形変化, 内水・河川氾濫,
リスクマネジメント, X線CTスキャナー

数値流体力学を用いた水防災・環境 の評価と予測手法の実用化

単に数値計算に頼るのではなく、現地観測を合わせて実施することで、常に現地の問題を肌で感じながら、実現象の理解と問題解決を目指しています

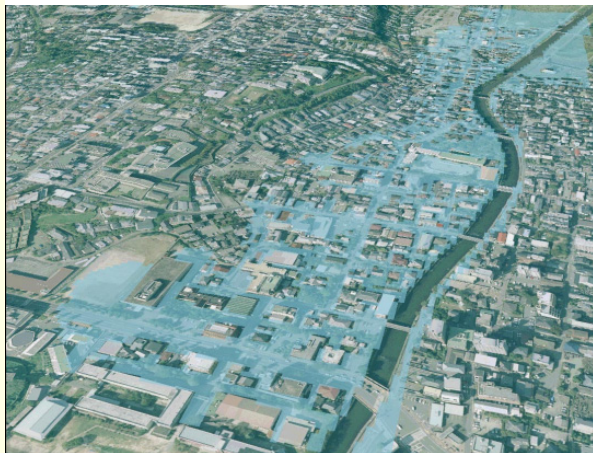
潜堤と浮消波堤を
組み合わせたマ
リーナ内の静穏度
評価の計算例



内水・河川氾濫
に伴う浸水予測
の計算例

(鳥瞰図)

青色は氾濫水を
示す



研究課題

- 1) 数値流体力学を用いた水防災・環境の評価と予測
- 2) 沿岸・河口域の底質輸送と地形変化
- 3) 地上型レーザースキャナーを用いた微地形計測
- 4) 海岸・河川災害とリスク評価
- 5) コミュニティベースの水害リスクコミュニケーション
- 6) 新形式の浮消波堤によるマリーナ・内湾の静穏度改善
- 7) ジオシンセティックス補強土工法の干潟域への適用
- 8) X線CT法スキャナーを用いた干潟底質環境の特性評価

企業の皆様へ

海岸・河川を中心とした水に係わる防災・環境問題に広く取り組んでおります。現地観測から数値計算まで、国内外の研究機関と連携した研究を行っております。共同研究・委託業務などございましたら、気軽に声をおかけください。